

各指定校における「いじめ未然防止プログラム」の特徴【中学校】

学校名	特 徴	該当ページ
北竜町立 北竜中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●北竜町の観光資源であるひまわりを効果的に活用した活動において、生徒同士や、地域の人々、観光客と触れ合う場を位置付け、郷土を大切する心やコミュニケーション能力を育んでいます。 ●赤ちゃんや園児、高齢者など様々な立場の人々と触れ合う活動を通して、その違いを理解するとともに、相手の立場に応じた接し方を学び、そのことが仲間との付き合い方にも生かせるよう工夫を図っています。 	<p>◆100～101 頁</p> <p>■180 頁</p>
北広島市立 西の里中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●異年齢集団による交流を通して、生徒同士のつながりの大切さに気付かせるとともに、人との関わりを大切にし、人を思いやる心を育んでいます。 ●「子ども大使交流」や「修学旅行商人体験」、「『雪明かりの道』プロジェクト」などを通じて、自分の住んでいる地域や学校の下さなどに気付くことができるよう、指導の工夫を図っています。 	<p>◆102～103 頁</p> <p>■181～182 頁</p>
小樽市立 長橋中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●先輩から受け継いできた生徒憲章の内容を学校行事等のねらいと関連付けることにより、生徒同士が互いを尊重したり、思いやりつたりする心を育んでいます。 ●従前から活発に行っている生徒会活動や高齢者福祉施設、生徒が在籍していた小学校といった学校内外の資源を有効に活用するなど、指導の工夫を図っています。 	<p>◆104～105 頁</p> <p>■183～184 頁</p>
登別市立 幌別中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●「いじめ撲滅集会」や「ありがとうの木運動」を活動の柱とし、相手に感謝の気持ちを素直に伝えることができる生徒を育成しています。 ●いじめの未然防止に関わって、各教科等を横断した学習を行い、その中で異年齢集団による交流を意図的、計画的に行うなど、指導の工夫を図っています。 	<p>◆106～107 頁</p> <p>■185 頁</p>
日高町立 門別中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒同士はもとより、様々な人々の立場や考え方、役割の違いを理解し、認め合ったり助け合ったりする心情や態度を育成しています。 ●生徒一人一人の学習状況に適切に対応する授業を行ったり、生徒会の行事を中心に、学級・学年との交流を推進したりするなど、指導の工夫を図っています。 	<p>◆108～109 頁</p> <p>■186～187 頁</p>
木古内町立 木古内中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●全校集会を学期に一度行い、先輩が後輩に対してリーダーシップを発揮することにより、後輩はその姿を見てフォロワーシップを学び、中学校におけるメンバーシップを育成しています。 ●小学校と連携した活動においては、小学生に安心感を与えるとともに、中学生としてのリーダーシップを育むことができるよう、指導の工夫を図っています。 	<p>◆110～111 頁</p> <p>■188 頁</p>
上ノ国町立 上ノ国中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●異年齢交流においては、学年による役割の違いなどを踏まえ、生徒の相互理解を図るとともに、飲酒・喫煙などの防止標語を掲示するなど、規範意識を高めています。 ●従前の学校行事等を「いじめ未然防止」の観点から捉え直し、活動のねらいを再検討するなどの工夫を図っています。 	<p>◆112～113 頁</p> <p>■189 頁</p>
美深町立 美深中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●学校と地域社会がともに生徒を育てる体制を構築し、地域社会と関わる多くの活動を推進することにより、生徒が地域社会の一員である自覚と責任感を高めています。 ●「ほっと」や「アセス」はもとより、「班ノート」の交流など、生徒理解の充実を図るとともに、得た情報を活用して「居場所づくり」に努めています。 	<p>◆114～115 頁</p> <p>■190 頁</p>
小平町立 小平中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●異年齢集団による交流や生徒会が主体となる活動を通して、学校の教育目標である「自ら考え、人格を高める生徒」を育成しています。 ●異年齢集団による交流など、生徒同士の関わりを重視した活動の推進と、外部講師を活用した地域とつながる活動を取り入れ、様々な人々と関わりがもてるよう、指導の工夫を図っています。 	<p>◆116～117 頁</p> <p>■191～192 頁</p>
枝幸町立 枝幸中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●入学式、体育祭、文化祭、卒業式において、応援パフォーマンスや全校合唱などの異年齢集団による活動を行うことにより、全校生徒にメンバーシップを育んでいます。 ●除雪ボランティアや職場体験などの、地域を生かした活動を通して様々な立場の人々を理解し、自分たちが地域に貢献できることについて考えられるよう、指導の工夫を図っています。 	<p>◆118～119 頁</p> <p>■193～194 頁</p>
網走市立 第二中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●新入生歓迎会や体育祭などの学校行事において、生徒会が主体となり全校生徒で取り組むことで、互いを理解する力や協力して問題を解決していく力などを育んでいます。 ●生徒が望ましい人間関係を築くことができるよう、構成的グループエンカウンターを学校行事と関連付けて行うなど、指導の工夫を図っています。 	<p>◆120～121 頁</p> <p>■195 頁</p>
清水町立 清水中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●学校行事や生徒会活動を関連付けて、年間を通じて意図的、計画的に異年齢交流を行い、仲間意識を高めることで、メンバーシップを育んでいます。 ●体育祭の伝統種目である「組体操」を通じて、先輩から後輩へ伝統が受け継がれることで「絆」を深められるよう、指導の工夫を図っています。 	<p>◆121～123 頁</p> <p>■196 頁</p>
標茶町立 標茶中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●体育祭や文化祭での異年齢集団による交流や、文化祭や卒業式での全校合唱を通して、自分の役割を果たすことで、生徒に自己有用感や望ましい人間関係を築く力、社会性を育んでいます。 ●普段、思っていることを言葉で伝えることが苦手な生徒に配慮して、「担任への手紙」を年に3回実施することにより、生徒理解の方法について工夫を図っています。 	<p>◆124～125 頁</p> <p>■197 頁</p>
根室市立 光洋中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●「全校構成的グループエンカウンター」など生徒会が中心となる活動を通して、望ましい人間関係を築くために必要なコミュニケーション能力を育成しています。 ●ユニバーサルデザインを意識した授業づくりや、カウンセリングマインドを意識した学級づくりなど、生徒が安心して学習できる居場所づくりに努めています。 	<p>◆126～127 頁</p> <p>■198 頁</p>

【注】「特徴」は「年間の取組計画」から抜粋。「該当ページ」は上段(◆)「マトリクス」「年間の取組計画」、下段(■)「主な活動」